

一般社団法人日本医療薬学会  
平成 29 年度第 2 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 29 年 3 月 24 日（金） 14 時 ～ 15 時 40 分

二. 開催場所：トラスティカンファレンス仙台 Room4

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、井関 健、山田 安彦

理 事：青山 隆夫、伊藤 清美、大谷 壽一、川上 純一、崔 吉道、  
千堂 年昭、武田 泰生、濱 敏弘、松原 和夫、峯村 純子、  
宮崎 長一郎、望月 真弓、山田 清文

監 事：大石 了三、安原 真人

年会長：大森 栄

陪席者

顧 問：木平 健治

事務局：星 隆弘

欠席者

理 事：出石 啓治、佐藤 淳子、脇山 尚樹

監 事：山元 俊憲

顧 問：五十嵐 邦彦、山本 信夫

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 17 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 29 年度第 1 回定例理事会議事録の確認

議長より、今月 2 日に開催された平成 29 年度第 1 回定例理事会議事録を基に、議事が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。続いて、本年 1 月から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 第 9 回定時社員総会資料等の確認

1) 平成 28 年度事業報告(案)

千堂理事より、第 9 回定時社員総会（以下、総会）資料を基に、総会で説明する

平成 28 年度事業報告(案)の概要と進行時間等が確認された。

2) 平成 28 年度決算報告(案)

山田(清)理事より、総会資料を基に、総会で説明する平成 28 年度決算報告(案)の概要と進行時間等が確認された。

3) 平成 28 年度監事監査報告

大石監事より、総会資料を基に、総会で説明する平成 28 年度監事監査報告の概要が確認された。

4) 総会進行手順、議事録署名人、会場レイアウト等の最終確認

議長より、総会資料を基に、次第及び進行の手順が説明された。また、千堂理事より、議事録署名人として 2 名を選任すること及び総会会場のレイアウト等が説明された。

(2) 平成 29 年度薬物療法指導薬剤師、研修施設の認定審査結果

望月理事より、薬物療法指導薬剤師認定制度委員会(3月1日開催)において審議された薬物療法指導薬剤師及び同専門薬剤師研修施設の認定審査結果他に係る説明があった。

1) 薬物療法指導薬剤師の認定審査

今年度の薬物療法指導薬剤師には 6 名より申請があり、本委員会で審議した結果、認定資格を満たしている 3 名を薬物療法指導薬剤師として認定し、3 名を不認定と判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

2) 薬物療法専門薬剤師研修施設の認定審査

今年度の薬物療法専門薬剤師研修施設には 21 施設より申請があり、本委員会で審議した結果、全 21 施設が認定要件を満たしていたため薬物療法専門薬剤師研修施設として認定できると判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

(3) 薬物療法専門薬剤師認定制度規程及び同規程細則の改正

望月理事より、薬物療法専門薬剤師制度の暫定措置が満了したこと及び今年度中に本制度の専門薬剤師、指導薬剤師及び研修施設の更新申請を受付ることになるため、本委員会で薬物療法専門薬剤師認定制度規程及び同規程細則の改正案を議論した経緯と具体的な改正のポイントが説明された。主な改正点として、①専門薬剤師(以下、専門)及び指導薬剤師(以下、指導)の認定要件の 1 つである患者指導の要約(50 症例)について、専門：4 領域・5 症例以上、指導：6 領域・5 症例以上という要件に変えて、1 つの領域に症例数の上限を設ける形に変更する、②専門及び指導の更新保留の要件をがん専門薬剤師の保留の要件に合わせる、③暫定措置を 2020 年に実施する認定申請まで延長して適用させる。当該 3 項目を盛り込んだ改正案を

協議した結果、更新保留の要件及び暫定措置の延長については了承されたが、症例の取り扱いについては、薬物療法指導薬剤師認定制度委員会で再検討すべきという意見になった。なお、前述の②、③の改正事項を含んだ当該規程及び細則は、本日付をもって改正された。

(4) 平成 29 年度がん専門薬剤師研修施設の認定審査結果

濱理事より、がん専門薬剤師認定制度委員会で審議したがん専門薬剤師研修施設の認定審査結果等に係る説明及び報告があった

1) がん専門薬剤師研修施設の認定審査

今年度のがん専門薬剤師研修施設には 20 施設より申請があり、メールによる本委員会で審議した結果、19 施設が認定要件を満たしていること、また 1 施設はがん専門薬剤師に準ずる施設の認定要件を満たしており、全ての施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間。)

2) がん専門薬剤師更新申請に係る再審査の結果報告

平成 28 年度第 6 回定例理事会において、がん専門薬剤師の更新審査上の取り扱いとして 6 名の審査判定を見合わせ、がん患者に対する薬学的介入（50 症例）の再提出を求めて再審査を実施し、その結果に基づき更新の可否を判定することが了承された。それを受けて当該再審査を実施した結果、全 6 名について、がん専門薬剤師の更新が認められると判定したことが報告された。

(5) 「医療薬学」への論文投稿受け付け事務の外部委託

大谷理事より、学会事務局より同事務局が担っている医療薬学誌の投稿論文の受付業務を外部業者に委託することに関する相談を受けたことより、事務局業務の軽減及びコストカットが期待できること、また著者・編集委員からの要請には、従来通りに学会事務局が対応する体制の維持が保てることより、編集委員会として当該外部委託を容認できると判断したため、本年 4 月より投稿論文の受付業務を外部委託に移行する説明があった。協議した結果、了承された。

(6) 各委員会委員・WG の新規編成、増員又は交代

1) 平成 30、31 年度 役員候補者選挙管理委員会の編成

千堂理事より、今年度実施予定の平成 30、31 年度役員候補者選挙に関わる管理委員会の編成案が示された。協議した結果、原案のとおり大野能之氏、鈴木昭夫氏、永田将司氏、橋口正行氏、原澤秀樹氏の 5 名をもって編成すること、また開票立会人を折井孝男氏に依頼することが了承された。

2) 大学教員認定制度検討 WG 委員の増員

青山理事より、当該検討 WG の委員として、新たに松村千佳子氏を加える説明があ

り、協議した結果、了承された。また、同理事より、更なる 1 名の増員を検討することも付け加えられた。

### 3) 保険薬局薬剤師認定制度検討 WG 委員の増員

宮崎理事より、当該検討 WG の委員として、新たに中山健夫氏（京都大学大学院医学研究科）を特別委員として加える説明があり、協議した結果、了承された。

### 4) がん専門薬剤師試験小委員会委員の交代

濱理事より、がん専門薬剤師試験小委員会委員 1 名を交代し、新たに森岡淳子氏を加える説明があり、協議した結果、了承された。

## (7) Antimicrobial stewardship program 実践のためのガイドンス(案)

奥田理事より、院内での感染症治療における抗菌薬の適正使用を推進する目的で、日本化学療法学会をはじめとする感染症とその治療に関連する 8 つの学会が合同で立ち上げた抗微生物薬適正使用推進検討委員会において策定した Antimicrobial stewardship program 実践のためのガイドンス(案)の概要が紹介された。

## (8) 前年度会費の遡及納入に係る対応

川上理事より、前年度会費の遡及の嘆願 1 件について説明があり、協議した結果、全ての嘆願を了承することとなった。

## (8) 日病薬賛助会員への加入

議長より、日病薬の賛助会員への加入について、これからも日病薬と連携を深めるとともに賛助会員として享受されるメリットなどが説明された。協議した結果、平成 29 年度より同会員として加入することが了承された。

## 3. 報告事項

### (1) 学会事務局職員の人事・労務管理に関する報告

千堂理事より、平成 28 年 1 月から 12 月までの 1 年間を対象とした本学会事務局職員の人事管理・労務等に係る調査報告があった。各職員の職務内容、給与支給、サービスや休暇の取得状況に係る記録等を調査した結果、適正に遂行されていたことが報告された。今後、勤務評定の導入（評定基準の策定）や人員体制の整備が課題であることが説明された。

### (2) 平成 29 年度医療薬学公開シンポジウムの開催スケジュール

青山理事より、平成 29 年度医療薬学公開シンポジウムの開催スケジュールが次のとおりに決定したことが報告された。

#### ・第 65 回 <北海道>

実行委員長： 田崎 嘉一 氏（旭川医科大学病院 教授・薬剤部長）

日 時： 平成 29 年 9 月 3 日（日） 13：00～16：30

会 場： 大雪クリスタルホール 国際会議場

・第 66 回 <鳥取県>

実行委員長： 島田 美樹 氏（鳥取大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

日 時： 平成 29 年 9 月 9 日（土） 13：00～17：00

会 場： 米子コンベンションセンター 小ホール

・第 67 回 <沖縄県>

実行委員長： 中村 克徳 氏（琉球大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

日 時： 平成 29 年 11 月 18 日（土） 13：00～17：00

会 場： ほしぞら公民館ホール

テーマ： 「専門薬剤師のアウトカム（検証、業務への活用・繋げ方）」

・第 68 回 <高知県>

実行委員長： 宮村 充彦 氏（高知大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

日 時： 平成 29 年 11 月 19 日（日） 13：00～17：00

会 場： 高知大学医学部附属病院 臨床講義棟第 3 講義室

(3) 委員会活動報告

1) 平成 29 年度第 1 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

望月理事より、本年 3 月 1 日に開催した平成 29 年度第 1 回薬物療法専門薬剤師認定制度委員会の議事概要として、本理事会の協議事項とした薬物療法指導薬剤師と薬物療法専門薬剤師研修施設の認定審査、薬物療法専門薬剤師認定制度規程及び細則の改正に係る検討、また薬物療法専門薬剤師及び同指導薬剤師の英語名称を議論したことが報告された。

2) 平成 29 年度第 1 回フレッシュャーズ・カンファランス企画小委員会

大谷理事より、本年 3 月 3 日に開催された平成 29 年度第 1 回フレッシュャーズ・カンファランス企画小委員会の議事概要として、実行委員会を編成して企画運営すること、開催日までのスケジュールの確認、広報用チラシの作成などを協議したことが報告された。

(4) 後援依頼（2 件）

議長より、次の 2 件の後援依頼を了承したことが報告された。

1) 「第 20 回日本医薬品情報学会総会・学術大会」

2) 「日本薬物動態学会第 32 回年会」

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 15 時 40 分に閉会を宣言し、解散した。